

がん対策の分野別施策のこれまでの取組状況

1 がん予防

取組項目・対策	主な取組内容等	課題・今後の方向性																
たばこ対策の強化 ・喫煙による健康被害についての普及啓発の推進 ・喫煙をやめたい人への禁煙支援 ・受動喫煙の防止	○たばこ対策推進事業 ・禁煙希望者への禁煙支援 インターネット禁煙マラソンによる禁煙支援の実施 禁煙サポート促進モデル事業 ・公共施設での禁煙・分煙化の推進 ・がん対策推進条例の受動喫煙防止対策の推進 H28.4 施行に向け周知・啓発 業界団体(生活衛生同業組合, 商工会議所, 遊技業協同組合), 保健所・食品衛生協会, 市町 等と連携を図りながら実施 表示用ステッカーの印刷・配付 第3種施設の禁煙・分煙・喫煙可の表示用ステッカーを県においても作成。特に受動喫煙の機会の多い飲食店へ個別送付 予定(H28.1～)その他団体等を通じて送付。	・禁煙支援の継続実施 ・条例の受動喫煙防止対策の徹底																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>計画策定時</th> <th>現 状</th> <th>目標 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>喫煙率 (成人男性)</td> <td>26.9% (H23)</td> <td>24.1% (H25) [▲2.8%]</td> <td>22%以下</td> </tr> <tr> <td>喫煙率 (成人女性)</td> <td>5.5% (H23)</td> <td>5.1% (H25) [▲0.4%]</td> <td>5%以下</td> </tr> <tr> <td>禁煙・分煙実施の公共機関等の割合 (公共機関)</td> <td>92.4% (H24)</td> <td>95.2% (H26) [+2.8ポイント]</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>			項目	計画策定時	現 状	目標 (H29)	喫煙率 (成人男性)	26.9% (H23)	24.1% (H25) [▲2.8%]	22%以下	喫煙率 (成人女性)	5.5% (H23)	5.1% (H25) [▲0.4%]	5%以下	禁煙・分煙実施の公共機関等の割合 (公共機関)	92.4% (H24)	95.2% (H26) [+2.8ポイント]	100%
項目	計画策定時	現 状	目標 (H29)															
喫煙率 (成人男性)	26.9% (H23)	24.1% (H25) [▲2.8%]	22%以下															
喫煙率 (成人女性)	5.5% (H23)	5.1% (H25) [▲0.4%]	5%以下															
禁煙・分煙実施の公共機関等の割合 (公共機関)	92.4% (H24)	95.2% (H26) [+2.8ポイント]	100%															
生活習慣の改善 ・良好な生活習慣の実現に向けた普及啓発 ・保健指導の充実	○栄養・食生活の改善 食育推進全国大会(H25), 減塩サミット in 広島 2014(H26)の開催 ○県民の健康づくり対策 実際の取組の展開について協議するため関係団体, 有識者等による食育推進会議等を開催, 四季の健康レシピの作成等 ○健康生活応援店の推進等 県民の健康づくりを応援する認証店舗の普及拡大 ○特定健診・特定保健指導に関する人材育成 広島県保険者協議会との共催による特定健診・特定保健指導従事者への研修の実施, 効果的な健診・保健指導が実施できる人材の育成	・普及啓発の継続実施 ・特定健康診査・特定保健指導実施率の向上 ・保健指導の充実																
感染症対策の強化 ・肝炎に関する正しい知識の普及啓発 ・肝炎ウイルス検査の受検促進	○ウイルス性肝炎対策 ・肝疾患コーディネーターの養成・活用 市町の保健師・企業の健康管理担当者を「肝疾患コーディネーター」として養成し, 身近な立場から肝炎ウイルス検査の受検勧奨及び肝炎ウイルスキャリアに対する受診勧奨を実施	・普及啓発の継続実施 ・職域における肝炎ウイルス検査の受検の促進																

<p>・病態に応じた肝炎医療の提供</p>	<p>・産業医研修 職域における衛生教育を通じ肝炎に関する正しい知識の普及啓発等を図るために産業医研修の実施</p> <p>・肝炎ウイルス検査啓発キャンペーン 日本肝炎デーに合わせ、街頭啓発活動及び出張型無料肝炎ウイルス検査を実施し、肝炎ウイルス検査の受検を促進</p> <p>・肝炎重症化・肝がん予防推進事業 肝疾患患者フォローアップシステムを活用した肝炎ウイルス陽性者の受診動向の把握、継続的な受診勧奨及び定期検査費用等の助成により、肝炎重症化・肝がん移行を予防</p>	<p>・肝疾患患者フォローアップシステムを活用した受診勧奨の継続実施</p>															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>計画策定時</th> <th>現 状</th> <th>目標 (H28)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肝炎ウイルス検査実施体制整備済みの職域割合</td> <td>33% (H23)</td> <td>30.0% (H25年度) [▲3.0%]</td> <td>50%以上</td> </tr> <tr> <td>B型肝炎ウイルスキャリアの受診率</td> <td>48% (H21)</td> <td>64.2% (H27.9) [+16.2%]</td> <td>65%以上</td> </tr> <tr> <td>C型肝炎ウイルスキャリアの受診率</td> <td>65% (H21)</td> <td>72.5% (H27.9) [+7.8%]</td> <td>75%以上</td> </tr> </tbody> </table>		項目	計画策定時	現 状	目標 (H28)	肝炎ウイルス検査実施体制整備済みの職域割合	33% (H23)	30.0% (H25年度) [▲3.0%]	50%以上	B型肝炎ウイルスキャリアの受診率	48% (H21)	64.2% (H27.9) [+16.2%]	65%以上	C型肝炎ウイルスキャリアの受診率	65% (H21)	72.5% (H27.9) [+7.8%]
項目	計画策定時	現 状	目標 (H28)														
肝炎ウイルス検査実施体制整備済みの職域割合	33% (H23)	30.0% (H25年度) [▲3.0%]	50%以上														
B型肝炎ウイルスキャリアの受診率	48% (H21)	64.2% (H27.9) [+16.2%]	65%以上														
C型肝炎ウイルスキャリアの受診率	65% (H21)	72.5% (H27.9) [+7.8%]	75%以上														

2 がん検診

取組項目・対策	主な取組内容等	課題・今後の方向性																							
<p>がん検診の精度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果の高いがん検診の実施 ・がん検診に対する理解の促進 	<p>○ がん検診精度管理推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町が実施するがん検診の精度向上のため、専門家による評価や市町担当者等への研修実施 ・胃がん・大腸がん検診部会での、「大腸内視鏡検査を受けるに至るまでの経緯に関する調査」の実施 ・がん検診結果報告に係る県標準様式の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による評価及び市町担当者への研修の継続実施 ⇒体制も含めた具体的な助言・支援 ・精密検査受診に至らない理由などを明らかにした具体的な精検受診率の向上対策の実施 ・5検診がんの県標準様式完成 																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="497 869 695 947">項目</th> <th data-bbox="695 869 802 947"></th> <th data-bbox="802 869 1015 947">計画策定時 (H21)</th> <th data-bbox="1015 869 1259 947">現 状 (H24)</th> <th data-bbox="1259 869 1383 947">目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="497 947 695 1151" rowspan="5">市町検診の 精密検査受診率</td> <td data-bbox="695 947 802 987">胃</td> <td data-bbox="802 947 1015 987">76.1%</td> <td data-bbox="1015 947 1259 987">79.0%[+2.9 ポイント]</td> <td data-bbox="1259 947 1383 1151" rowspan="5">80%以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="695 987 802 1028">肺</td> <td data-bbox="802 987 1015 1028">74.7%</td> <td data-bbox="1015 987 1259 1028">74.9%[+0.2 ポイント]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="695 1028 802 1068">大腸</td> <td data-bbox="802 1028 1015 1068">64.9%</td> <td data-bbox="1015 1028 1259 1068">63.4%[▲1.5 ポイント]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="695 1068 802 1108">子宮</td> <td data-bbox="802 1068 1015 1108">57.6%</td> <td data-bbox="1015 1068 1259 1108">70.6%[+13.0 ポイント]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="695 1108 802 1151">乳</td> <td data-bbox="802 1108 1015 1151">68.6%</td> <td data-bbox="1015 1108 1259 1151">81.8%[+13.2 ポイント]</td> </tr> </tbody> </table>				項目		計画策定時 (H21)	現 状 (H24)	目 標	市町検診の 精密検査受診率	胃	76.1%	79.0%[+2.9 ポイント]	80%以上	肺	74.7%	74.9%[+0.2 ポイント]	大腸	64.9%	63.4%[▲1.5 ポイント]	子宮	57.6%	70.6%[+13.0 ポイント]	乳	68.6%	81.8%[+13.2 ポイント]
項目		計画策定時 (H21)	現 状 (H24)	目 標																					
市町検診の 精密検査受診率	胃	76.1%	79.0%[+2.9 ポイント]	80%以上																					
	肺	74.7%	74.9%[+0.2 ポイント]																						
	大腸	64.9%	63.4%[▲1.5 ポイント]																						
	子宮	57.6%	70.6%[+13.0 ポイント]																						
	乳	68.6%	81.8%[+13.2 ポイント]																						

<p>がん検診の受診率向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診実態の把握 ・普及啓発の推進 ・個別受診勧奨の推進 ・受診しやすい環境づくり 	<p>○ がん検診受診率向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診普及啓発強化事業 様々な社会資源を活用した効果的な情報発信など、「がん検診」への関心を呼び起こす全県的な啓発キャンペーンを展開 等 マツダスタジアムのカープ公式戦 がん検診啓発ポスター・チラシの作成・配布 「がん検診へ行こうよ」推進会議会員の独自啓発事業等 ・がん検診個別受診勧奨支援事業 市町が行う受診勧奨・再勧奨への経費・資材による支援がん検診養成員の養成 ・Teamがん対策ひろしま推進事業 がん対策全般に積極的に取り組む企業を「Teamがん対策ひろしま」として登録・公表し、民間企業における予防・検診の普及啓発、就労支援等の取組を促進 ・がん検診・がん予防に関する職域出前講座 企業におけるがん予防・がん検診受診の推進に向け、従業員・健康管理担当者向け出前講座を実施 ・がん検診受診実態調査事業 県内医療機関に対する検診受診者数調査の実施、主要検診機関から検診の受診傾向を把握 ・がん対策サポートドクター・がん検診サポート薬剤師実施事業 身近なかかりつけ医や薬剤師を「がんよろず相談医」・「がん検診サポート薬剤師」として養成し、検診の受診勧奨やがん医療ネットワークへの適切な紹介等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発の継続実施 ・効果的な個別受診勧奨の実施 ・職域でのがん検診受診率の向上に向けた取組 ・様々な人からの受診勧奨の増加に向けた取組
---	---	--

項目	計画策定時		現 状		目標（H29）	
がん検診受診率 （国民生活基礎調査） 計画策定時：H22 現 状：H25	胃	32.6%	胃	40.5%	すべて 50%以上	
	肺	23.3%	肺	41.3%		
	大腸	23.3%	大腸	37.2%		
	子宮頸	40.0%	子宮頸	43.9%		
	乳	36.9%	乳	43.0%		
市町実施のがん検診受診者数 計画策定時：H22年度 現 状：H26年度（概算値）	胃	44,747 人	胃	45,984 人	胃	6 割増
	肺	63,701 人	肺	76,127 人	肺	10 割増
	大腸	61,821 人	大腸	89,312 人	大腸	10 割増
	子宮頸	148,707 人	子宮頸	156,721 人	子宮頸	3 割増
	乳	93,333 人	乳	89,596 人	乳	4 割増
「広島県がんよろず相談医」、 「がん検診サポート薬剤師」 認定数	医師	養成開始	医師	658 人 （～H26年度）	医師	900 人
	薬剤師	養成開始	薬剤師	330 人 （～H26年度）	薬剤師	900 人
がん検診受診 啓発キャンペーン認知度	46.9%		81.2%		—	

3 がん医療

取組項目・対策	主な取組内容等	課題・今後の方向性
<p>医療提供体制の充実強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院の機能強化 ・医療提供体制の充実 ・人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん医療ネットワーク機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・5大がん(乳がん, 肺がん, 肝がん, 胃がん, 大腸がん)の医療ネットワークの普及・機能強化 医療機関を対象にがん医療ネットワーク説明会の実施 「わたしの手帳(地域連携パス)」の作成・配付(肝がん, 胃がん及び大腸がん) ・各がん診療連携拠点病院における地域連携クリティカルパスの推進 《県内統一パス活用状況》 8病院/11病院(国指定) ○ がん診療連携拠点病院機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地域における「がん診療連携」の円滑な実施を図るとともに, 質の高いがん医療の提供体制を確立 ・指定要件が強化された新整備指針に基づく「がん診療連携拠点病院」の機能強化 《主に強化された機能》 人的配置, がんと診断された時からの緩和ケア, 相談支援, 情報提供・公表, PDCAサイクルの構築 ○ 小児がん医療の連携と集約化の推進 <ul style="list-style-type: none"> 広島大学病院(小児がん拠点病院)において, 中四国各県の連携病院による「小児がん中国・四国ネットワーク会議」を定期的に開催 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院間に, 診療実績, 人的配置, 地域連携, 相談支援等に関して大きな差がある。 ・小児がんに係る医療提供体制の現状把握ができておらず, 医療連携や長期フォローアップ体制の構築に取り組めていない。 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広島県がん診療連携協議会」において, 県内のがん診療等の状況に関する情報を収集, 分析, 評価し, 改善を図る。 ・小児がん医療に係る地域の医療施設及び患者・家族等の実態を把握し, 連携体制を構築する。
<p>医療内容等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線療法, 化学療法, 手術療法の充実 ・病理診断の充実 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島がん高精度放射線治療センター整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・4施設(広島大学病院, 県立広島病院, 広島市立広島市民病院, 広島赤十字・原爆病院)共同で高度な放射線治療装置を配備した「広島高精度放射線治療センター」を整備し, 運営を開始(H27.10.1) 	

4 緩和ケア

取組項目・対策	主な取組内容等	課題・今後の方向性												
<p>施設緩和ケアの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提供体制の充実 ・質の向上 	<p>○ 緩和ケア推進事業(施設緩和ケア推進事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内医療機関の緩和ケアチーム及び緩和ケア病棟の活動実績を把握・評価・公表する仕組みづくり(緩和ケアチーム等連絡協議会, 緩和ケア病棟連絡協議会等における検討) ・ 医療従事者等を対象とする研修会の実施 ・ 緩和ケア医師研修(派遣コース)などによる人材育成支援 <table border="1" data-bbox="475 600 1394 824"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>計画策定時</th> <th>現 状</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア病棟のある二次保健医療圏域数</td> <td>5/7 圏域 (H24)</td> <td>5/7 圏域 (H27) [増減なし]</td> <td>全 7 圏域</td> </tr> <tr> <td>施設緩和ケアに(病棟, チーム, 外来)の活動実績の把握等</td> <td>整備状況の把握 (H24)</td> <td>活動実績の公表 (H27)</td> <td>活動実績の把握・評価・公表</td> </tr> </tbody> </table>	項目	計画策定時	現 状	目 標	緩和ケア病棟のある二次保健医療圏域数	5/7 圏域 (H24)	5/7 圏域 (H27) [増減なし]	全 7 圏域	施設緩和ケアに(病棟, チーム, 外来)の活動実績の把握等	整備状況の把握 (H24)	活動実績の公表 (H27)	活動実績の把握・評価・公表	<ul style="list-style-type: none"> ・活動実績の公表などにより, どう質の向上につなげていくかの検討
項目	計画策定時	現 状	目 標											
緩和ケア病棟のある二次保健医療圏域数	5/7 圏域 (H24)	5/7 圏域 (H27) [増減なし]	全 7 圏域											
施設緩和ケアに(病棟, チーム, 外来)の活動実績の把握等	整備状況の把握 (H24)	活動実績の公表 (H27)	活動実績の把握・評価・公表											
<p>在宅緩和ケアの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護・福祉の顔の見える関係づくり ・在宅緩和ケアCOの配置による連携強化 ・介護保険施設での緩和ケアの推進 ・通院治療を受ける患者・家族への支援 等 	<p>○緩和ケア推進事業(在宅緩和ケア推進事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院と在宅医療の相互連携, 多職種連携, 医療と介護の連携などを円滑に進めるための仕組みづくり(ネットワーク会議, 在宅緩和ケアコーディネーターの配置, 資源マップ作成, 地域連携パス検討等) 在宅緩和ケア推進協議会における協議 モデル地区における実践活動 ・緩和ケア従事者研修会の実施 <table border="1" data-bbox="475 1189 1394 1480"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>計画策定時</th> <th>現 状</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域の実情を踏まえた在宅緩和ケアの体制づくり</td> <td>—</td> <td>在宅緩和ケアコーディネーター 28 名 (7 圏域) 配置</td> <td>在宅緩和ケアコーディネーター配置等</td> </tr> <tr> <td>在宅緩和ケアに係る地域資源マップを整備している二次保健医療圏域数</td> <td>—</td> <td>5/7 圏域 (H27)</td> <td>全 7 圏域</td> </tr> </tbody> </table>	項目	計画策定時	現 状	目 標	地域の実情を踏まえた在宅緩和ケアの体制づくり	—	在宅緩和ケアコーディネーター 28 名 (7 圏域) 配置	在宅緩和ケアコーディネーター配置等	在宅緩和ケアに係る地域資源マップを整備している二次保健医療圏域数	—	5/7 圏域 (H27)	全 7 圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業が終了した地区の事業の継続及び内容の充実
項目	計画策定時	現 状	目 標											
地域の実情を踏まえた在宅緩和ケアの体制づくり	—	在宅緩和ケアコーディネーター 28 名 (7 圏域) 配置	在宅緩和ケアコーディネーター配置等											
在宅緩和ケアに係る地域資源マップを整備している二次保健医療圏域数	—	5/7 圏域 (H27)	全 7 圏域											
<p>人材育成の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種人材育成の充実 ・緩和ケア研修の質の充実 	<p>○緩和ケア推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多職種の人材育成を図るため, 職種別専門研修を実施 緩和ケア医師研修の「フォローアップ研修」 看護師, 緩和ケア病棟看護師等(ELNEC-J), 薬剤師, 介護支援専門員・地域連携職種, ヘルパー・介護支援専門員等 緩和ケア先進医療機関への医師派遣研修 緩和ケア人材育成検討会 	<ul style="list-style-type: none"> ・診療所の医師研修修了者を増やすための取組 												

項目		計画策定時	現 状	目 標
多職種人材育成, 緩和ケア医師研修の質の充実	福祉関係の専門研修修了者数	655人 (H16-23年度累計)	+624人	500人増
	医師研修修了者	1,024人 (~H23)	2,060人 (H27.11)	—
	内 拠点病院医師	672人 (~H23)	1,438人 (H27.11)	400人増
	内 診療所医師	182人 (~H23)	321人 (H27.11)	600人増

緩和ケアに対する正しい理解の促進	○緩和ケア推進事業 ・ 県民や医療・保健・介護従事者の理解を深めるための講演会等を実施 県民向け講演会, 施設職員向け講演会の開催	・講演会の継続実施 ・正しい理解の浸透度の効果測定の方法の検討							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>計画策定時</th> <th>現 状</th> <th>目 標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケアに係る講演会等への参加者数</td> <td>2,401人 (~H23)</td> <td>+2,908人 (H27.11)</td> <td>3,000人増</td> </tr> </tbody> </table>	項目	計画策定時	現 状	目 標	緩和ケアに係る講演会等への参加者数	2,401人 (~H23)	+2,908人 (H27.11)	3,000人増
項目	計画策定時	現 状	目 標						
緩和ケアに係る講演会等への参加者数	2,401人 (~H23)	+2,908人 (H27.11)	3,000人増						

5 情報提供・相談支援

取組項目・対策	主な取組内容等	課題・今後の方向性
<p>がんに関する情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体と連携した情報提供の推進 ・「広島がんネット」の充実等 	<ul style="list-style-type: none"> ○がん患者・家族支援事業 ・県内の医療施設の医療資源や治療成績など、がんに関する様々な情報提供 「広島がんネット」による情報提供 「がん患者さんのための地域の療養情報サポートブック」の改訂・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供の継続実施
<p>がん患者・家族等への相談対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援体制の充実 ・ピアサポートの充実 ・相談支援センター等の広報強化等 	<ul style="list-style-type: none"> ○がん患者・家族支援事業 ・広島がんサポートに委託し、電話相談窓口「がん患者フレンドコール」を設置 ○広島県がんピアサポーター養成事業 ・がん患者等と同じ立場で相談支援を行うがん経験者等を「がんピアサポーター」として養成 ○相談支援センター機能強化支援事業 ・がん診療連携拠点病院の相談支援センター利用者アンケートの実施、患者・家族の声を反映した取組を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きピアサポーターを養成するとともに、がん診療連携拠点病院相談支援センターや患者団体と連携した相談支援体制を構築する
<p>がん教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頃からの正しい理解に向けた取組推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○がん教育の推進 ・教職員に対する研修会の実施 保健主事研修会等を活用して、がん教育の必要性等について研修を実施 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育へのがん教育の導入に当たり、外部講師の確保等効果的な授業の実施 <p>【対応案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関及び団体等が参画する連携・支援体制を構築し、授業の充実を図る。
<p>がん患者・経験者等の就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境と相談支援体制づくり等 	<ul style="list-style-type: none"> ○がん患者等就労支援事業 ・がん患者等が仕事と治療の両立ができるよう、民間企業等を対象とした就労支援に関するセミナーを開催 啓発資料「経営者の皆様だからできること～がんになった従業員に対する“就労支援”のすすめ～」を作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発を継続実施

6 がん登録

取組項目・対策	主な取組内容等	課題・今後の方向性	
<p>がん登録の精度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録届出数の増加 ・登録担当者の資質向上等 	<p>○ 地域がん登録システム推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録データを活用した効果的ながん対策の実施に向けた環境整備 報告書「広島県のがん登録」の作成 がん登録届出実務に関する説明会の開催 県民向け広報資料の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国がん登録への円滑な移行(H28.1) 	
<p>がん登録データの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生存率の情報公開 ・登録データの活用 等 			
<p>県民への情報提供と理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい情報提供 			